

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	五島市			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	五島市	地域振興部・観光物産課	馬場 崇 初則	0959-74-0811
事業期間	開始年	平成30年2月5日 (1年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日)平成30年2月5日 (完了日)平成30年3月5日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	福江空港ターミナルビル株式会社		白石 英二	0959-72-5151
	(委託内容) (1) 外国人留学生モニターツアー企画運営業務 (2) アンケートの実施、報告書の作成			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	宿泊施設、観光事業者		外国人観光客の受入に不慣れな宿泊・観光施設に対して宿泊時の対応を経験してもらうことで、インバウンドに対するスキルアップ、受け入れ体制向上を図る。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	○外国人留学生モニターツアー概要			
	【日時】平成30年2月16日(金)～18日(日) 【対象者】長崎県内大学の留学生 20名 【集合解散】長崎港 ○アンケートの実施、報告書の作成 ・留学生の意見を組みとるため、アンケート、意見交換の実施。 ・問題点を洗い出し取りまとめたうえで、ツアー関係者への還元を行う。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	平成30年7月予定の世界遺産登録を目前に控え、外国人観光客が増えることが見込まれる中で、インバウンド受入に不慣れな宿泊・観光施設にも外国人観光客が宿泊することが想定される。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(経緯・現状)			
	五島市内での外国人観光客の宿泊先は、宿泊キャパが大きい宿泊施設が中心であり、外国人観光客に不慣れな小規模宿泊施設が多いのが現状で、観光事業者も同様である。まずは日本語が少しは話せる外国人留学生を受け入れることで、外国人目線での観光資源の現状・課題を明らかにするとともに、海外からの観光客受入を担う宿泊・観光事業者の受け入れ意識の向上、スキルアップが必要である。			

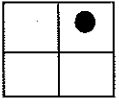
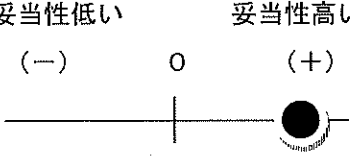
事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算
事業費（円）		0	0	911,957
(財源内訳)	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	455,000
	市町振興共同事業助成金	0	0	365,565
	一般財源	0	0	91,392

成果(活動)指標	指標名	指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	外国人宿泊の受入に対して印象の変化があった施設数	今回受入を行った宿泊施設で、外国人を受け入れる意識が良い方向へ変わった施設数	施設	目標	-	-
実績					-	-	1
目標達成率 (%)				-	-	100	
②				今後の外国人宿泊客の受入を希望する施設数	今回受入を行った宿泊施設の中で、積極的な受け入れもしくは問合せがあれば受け入れていく施設数	施設	目標
	実績	-	-				5
	目標達成率 (%)		-			-	125

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		<div style="text-align: center;"> 必需 (+)  私益 (-) 公益 (+) 選択 (-) </div>
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input checked="" type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価 妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 	(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等) 世界遺産を目前に外国人観光客も増加しており、外国人受入に不慣れな宿泊施設、観光施設に滞在する機会も増えていくことから、受入施設等の意識の向上、スキルアップの面からも事業廃止を行うことで観光面の影響は大きい。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		世界遺産を追い風にした観光宣伝、韓国、フィリピン等の営業の強化。
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)
	実施予定 期 日	H30.6	
有効性の点検	(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)
	<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない		外国(特に韓国)への営業による誘客は実施しているが、逆の施設等のインバウンド受入体制整備は実施していないため、類似事業はない。
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		窓口、大学等との連絡調整は市で行うが、事業実施(モニターツアー)については、民間委託により実施している。
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		観光・宿泊施設の研修の一環であるため、歳入確保は困難である。	

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	<p>平成30年2月に、平成30年度予定の世界遺産登録を目前にした、宿泊・観光施設向けのインバウンド受入体制整備に向けたモニターツアー、研修を実施した。参加した外国人留学生からの情報発信も実施され、五島の宣伝に一役買って頂いた。</p> <p>平成30年度も世界遺産登録前の平成30年6月頃に再度宿泊・観光施設向けの研修を実施し、さらなる受入体制整備に力を入れて、受入の充実を図っていきたい。</p>				